

I 学校沿革の概要

明治 6年11月 2日	学校規則により、地頭方7ヶ村連合学校として白羽新谷宗心寺に創設
7年 5月	地頭方・白羽の2校に分離。地頭方分校として海福寺に学校を置く。
8年 6月13日	地頭方学校より独立。本村1ヶ村を学区とし海福寺に御前崎学校を設置
18年12月25日	榛原郡15学区。村立御前崎学校と改称
22年12月 5日	御前崎尋常小学校と改称
25年12月 5日	御前崎尋常高等小学校と改称
41年 4月 7日	義務教育年限延長し尋常科6年、高等科2年となり、校舎の大増築に着手
大正13年10月 7日	校歌制定。作詞 真田範衛氏、作曲 山本正夫氏
昭和16年 4月 1日	静岡県榛原郡御前崎村国民学校と改称
22年 4月 1日	静岡県榛原郡御前崎村立御前崎小学校と改称
30年 4月 1日	町村合併により、静岡県榛原郡御前崎町立御前崎小学校と改称
48年 2月19日	校旗制定
48年11月 2日	開校100周年記念式典。各学級の輿17台3班に分かれて学区パレード
50年 3月20日	正門通路開通。
52年10月20日	アカウミガメ飼育開始
60年11月15日	全日本健康優良校表彰
平成元年11月14日	学校歯科保健優良校表彰
6年 4月 1日	静岡県教育委員会指定「ふるさと促進交流事業推進校」(6～8年度)
7年11月 3日	全日本健康推進優秀校中央表彰
8年 4月 1日	平成8年度教育ルネッサンス21「育む木」推進事業
9年 2月 6日	御前崎子供環境サミット体験学習
10年11月30日	「全国野生生物保護実績発表大会」文部大臣奨励賞受賞
11年 8月30日	体育館落成
12年10月30日	文化財保護法50周年記念、文化財保護功勞として文部大臣表彰
15年10月31日	静岡県教育委員会教育研究指定 人権教育
16年 4月 1日	合併に伴い、御前崎市立御前崎小学校と改称
17年 3月19日	新校舎完成
22年 4月 1日	御前崎市教育委員会教育研究発表
23年 2月11日	SYDボランティア奨励賞(優秀賞)
23年12月 8日	御前崎市教育委員会教育研究発表
24年 2月29日	校内LAN設置(授業棟)
25年12月 2日	管理棟耐震工事完了
27年 8月31日	校内無線LAN工事完了

II 学区の実態

学区は、静岡県の最南端、御前崎半島の台地の先端に位置し、三方を海に囲まれた自然環境に恵まれた地域である。岬の先端には、明治5年に作られた白亜の洋式灯台が遠州灘の海を照らしている。5月上旬から8月下旬までの間に、アカウミガメが産卵のために、御前崎の海岸の白砂を求めて上陸してくる。

過去、典型的な漁村として栄えた御前崎であるが、最近では観光資源の開発や御前崎港の国際多目的港への発展等、産業構造は第1次から第2次・第3次産業へと変化した。

地域住民の意識は、素朴で緊密な人間関係を大切にすることが多い。また、昔からの伝統を大切にしようとする傾向が強い。

地域住民の学校教育に対する関心や信頼度は高く、学校からの要望などには協力的で、多くの建設的な意見が寄せられている。また、保護者も協力的で、学校教育と家庭教育の相互補充を深めるPTA活動が行われている。